

2006 年度

科目名 通訳法演習	対象学科・学年 文学部英語 3 回生	担当者 三原 文
授業テーマ 英語の運用能力を総合的に磨く		
授業の概要と目標 英語検定 2 級程度の語学能力で可能な逐次・同時通訳の練習を通して 通訳の基本を学習する (前期科目の通訳入門を受講していることが前提)		
評価方法 授業態度のみで評価		
テキスト 使用せず	著者	出版社
参考書 授業で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 英語を読む、書く、話す、聴く、そして全般的な日本語能力、リーダーシップ など二ヶ国語を使用してのコミュニケーション能力の習得を目指して、実践的に練習する。 新聞、雑誌、書籍などの欠かれた言葉、また視聴覚メディアで聞かれる言葉も時に教材として使用。 英語から日本語への、すばやく、分かりやすい言い換えの訓練が基本。 15 回のすべての時間で、受講者は、発表者、聞き手、進行役として授業に深く参加。 そうした作業内容を反復することで、言葉の運用能力と話題の知的水準をさらに上げていく。 ★相当に難しい科目であることを了解のこと		